

社会

➔ 5年生 | 「自動車工業」

自動車づくりの流れとくふう

～「観察・表現シート」～

1. はじめに

自動車工場の見学は、子どもたちにとって興味深い活動です。自動車が組み上がっていく様子は見るだけでも楽しくなります。この時、教師としては、満足 of いく観察や表現をさせたいものです。

子どもたちは各生産工程に目がいきがちですが、それだけでなく、現場で働く人々の表情、ロボットの動きや作業時間といった個別の要素にも着目してほしいのです。

そのために役立つのが、工場見学の「観察・表現シート」です。

2. 子どもの視線と思いを書きこむ

生産工程については、事前に教科書や資料集などの写真を使って、観察・表現をさせます。右の写真が「観察・表現シート」です。

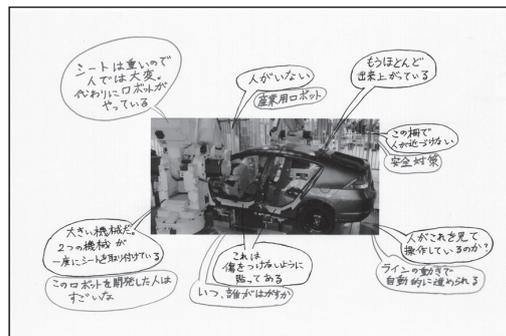
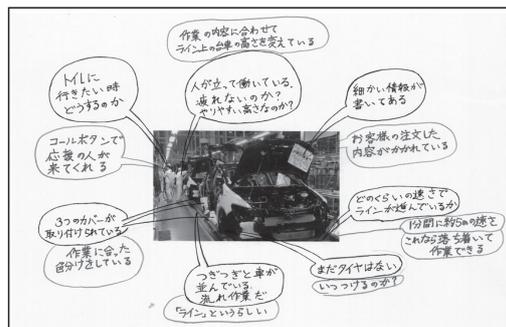
自分の視線の先から写真のまわりの余白に線を引き、それに対して何を思ったり考えたりしたかを吹き出し風にし書きこみます。こうしておいて、工場見学に出かけます。

実際の見学時は、落ち着いてメモがとれません(撮影もできません)。ですので、簡単なメモを指示し、それができないときは自動車づくりの様子をしっかりと目に焼きつけさせます(実際に工場見学に行けない時は、インターネットのバーチャル工場見学やデジタル教科書などを活用して、同様の活動をさせます)。

見学後、事前書きこんだ「観察・表現シート」に工場見学で見たこと・聞いたことを書き加えるのです。この時も工場で見えた自分の視線の先から線を引き出し、それに対して何を思ったり考えたりしたかを

書きこみます。できれば線や文字の色を変えるくふうをすると学習の進化が表現できます。「観察・表現シート」を完成させることで、わかったこと・わからなかったこと(新たに気づいたことや疑問に思ったこと)をとらえることができます。

また、他の人と見せ合いができるので意見を交換し合いながら、新たに調べたいことについて考えることもできます。



3. 見学のしおりに「観察・表現シート」を取りこむ

社会科見学の際には、しおりに作成します。その中でも、見学先の写真と紙面の余白スペースを上手に活用して「観察・表現シート」を取りこめば、見学前から見学後の学習者の意識を連続してつないでいくことができます。

また、考えたことを自分の言葉でまとめ、深めていくことで、言語活動の充実を図ることもできます。